

平成25年度 清原北小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

「人間尊重の教育」を基盤に，自ら考え正しく判断し，豊かな心をもってたくましく生きる児童を育成する。

【考え深く】

【こころ豊かで】

【たくましく】

活用期 ○ 自ら考え工夫する子 ○ こころ豊かで思いやりのある子 ○ 気力と体力のあるたくましい子
基礎期 ○ 自分で考え学習する子 ○ 親切で思いやりのある子 ○ 元気でがんばる子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

『小規模特認校として，保護者や地域から信頼され協力し合いながら，夢と理想をもって共に成長していく学校』
・児童一人ひとりが目当てをもって，生き生きと学習や活動に取り組み，成就感や達成感を味わうことのできる学校
・児童のよさや個性が発揮でき，お互いに認め合い，励まし合いながら伸びていこうとする気風が満ちている学校
・児童自らが，体力・健康・食を関連付けた望ましい生活習慣を身に付け，気力と体力が充実している学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※地域学校園内で共通する方針は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ① 小規模特認校として，学校・家庭・地域が互いに連携し信頼関係を深め，小中一貫教育の基本方針により学校力を高める。
- ② 個に応じたきめ細かな指導により，基礎学力の定着を図る。
- ③ 児童と達成感や成就感を共有し合うことにより，「学ぼうとする力」を育成する。
- ④ 課題解決や目標達成のための資質・能力「自己実現力」を育成する
- ⑤ 認め合い，励まし合い，協力し合える豊かな人間関係を構築し，「よりよく生きようとする力」を育成する。
- ⑥ 体力・健康・食に関する望ましい生活習慣を構築し，心身共に「健康的な生活を創ろうとする力」を育成する。
- ⑦ 専門職として自己研修に努め，教科・学級・学校経営の適正化を図り，協働性を高める。

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※地域学校園内で共通する目標は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学 校 運 営】

- ・ 小規模特認校9年目となり，基礎学力の充実を図り地域でよりよく生きようとする児童の育成を目指すことにより，保護者や地域との信頼・協力関係の向上を図る。

【学 習 指 導】

- ・ 進んで他者と関わりながら会話を楽しもうとする児童の育成

【道徳教育（児童生徒指導）】

- ・ 体力・健康・食を関連付けた望ましい生活習慣をもった児童の育成

【健康（保険安全・食育）・体力】

- ・ 基本的な生活態度を身に付け，善悪の区別ができる規範意識をもった児童の育成

5 自己評価（評価項目のAは市共通，Bは学校独自を示す。）

※地域学校園内で共通する取組は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A1 学校は，活気があり，明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 A1対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ 学び方の指導，学びの記録の充実，教育相談及び保護者との懇談の工夫により，主体的で前向きな学習習慣及び学習意欲の向上を図る。		

A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 A 2 対応共通アンケートにおける肯定的回答 80%以上	○ 学校及び学級経営の課題の明確化、共有化を図り、組織的・継続的に教育課程を実践する。	
A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 A 3 対応共通アンケートにおける肯定的回答 80%以上	○ <u>日常的な学級経営を中心に、「清原っ子の約束」を自校化するなど効果的に活用し、規則・規範意識の向上や、その行動化の目標を設定しながら、児童指導の強化を図る。</u>	
A4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 A 4 対応共通アンケートにおける肯定的回答 80%以上	○ 学習に対する個人的目標・集団的目標・家庭学習的目標を設定し、継続的に努力する学習環境を充実させる。 ○ <u>従来の国語科、算数・数学科、会話科に加えて、理科、音楽、体育においても小中が連携し、授業改善に取り組む。</u>	
A5 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】 A 5 対応共通アンケートにおける肯定的回答 80%以上	○ 教師の多忙感、児童の学習疲労の状況を把握し、学校生活のリズムの構築及び行事、分掌の精選に取り組む。	
A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】 A 6 対応共通アンケートにおける肯定的回答 80%以上	○ 学校を開いたことにより、顕在化してきた保護者や地域のニーズを具体的な教育活動として実践する。 ○ <u>「清原地域学校園だより」等の発行・配布を通して、小中一貫教育の取り組みを保護者・地域に発信し、理解を促進する。</u>	
A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】 A 7 対応共通アンケートにおける肯定的回答 80%以上	○ 地域各実行委員会が企画・運営し、学校の特色ある教育活動となっている「3連携プログラム」の充実を図る。	

教育活動の状況		A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 A8 対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ 児童の学習や生活の場、また、地域が活用できる公共の場としての校舎内外の環境整備に努める。	
		B1 学校は、地域学校協議会と協力・連携し、教育活動の充実を図っている。 【数値指標】 B1 対応学校独自アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ 地域学校協議会の活動内容及び運営状況を広く公表し、意見を求めることにより協議会の活性化を図る。	
	生活	A9 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 A9 対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ <u>小中連携した「地域学校園あいさつ運動」を実践し、児童の意識の向上を図る。</u> ○ 児童会や各学年による自発的・自治的な取り組みを促進する。	
		A10 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 A10 対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ 具体的な言葉の使い方及び言葉を使う心の両面指導を重視し、学校・家庭・地域が連携した継続的な指導を実践する。 ○ 学校行事や学級懇談会などを通して、学校から家庭・地域に積極的に働きかけていく。	
	健康・体力	A11 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 A11 対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ スクスクプランの実践において学級活動や委員会活動など児童の主体的な活動を充実させ、自らの生活を創る力の育成を図る。 ○ 日ごろから運動しやすい場や環境を工夫して設定し、<u>各種検定には、清原地域学校園（小中学校共通のもの）で統一した検定表を効果的に活用する。</u>	
		A12 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 A12 対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ <u>地域学校園における「朝食のすすめ」や「お弁当の日」を効果的に活用し、保護者と連携を図った食育を実践することで、保護者の意識向上に努める。</u>	

	学	A13 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 A 1 3 対応共通アンケートにおける肯定的回答 8 0 %以上	○ 絶対評価や相対評価を生かした的確な児童理解、個に応じた指導内容、児童の変化に対応した迅速な指導方法を実践し学力向上を図る。	
	習	A14 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 A 1 4 対応共通アンケートにおける肯定的回答 8 0 %以上 B	○ 基本的な学習習慣の確立や発達段階に応じた基礎的学力の定着を図るため、指導助手や特別支援教室指導員との連携を図りながら、より効果的な個に応じた指導内容や指導方法を工夫する。	
本校の特色・課題等		B2 コミュニケーション力の育成を目指し、各教科における表現力の指導や会話科の指導が充実している。 【数値目標】 B 2 学校独自アンケートにおける肯定的回答 8 0 %以上	○ 宇都宮大学と連携し、会話科のカリキュラムの再構築及び他教科、領域との関連を明確にし、統合的・継続的にコミュニケーション力の育成を図る。	

〔総合的な評価〕

※地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

6 学校関係者評価

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。